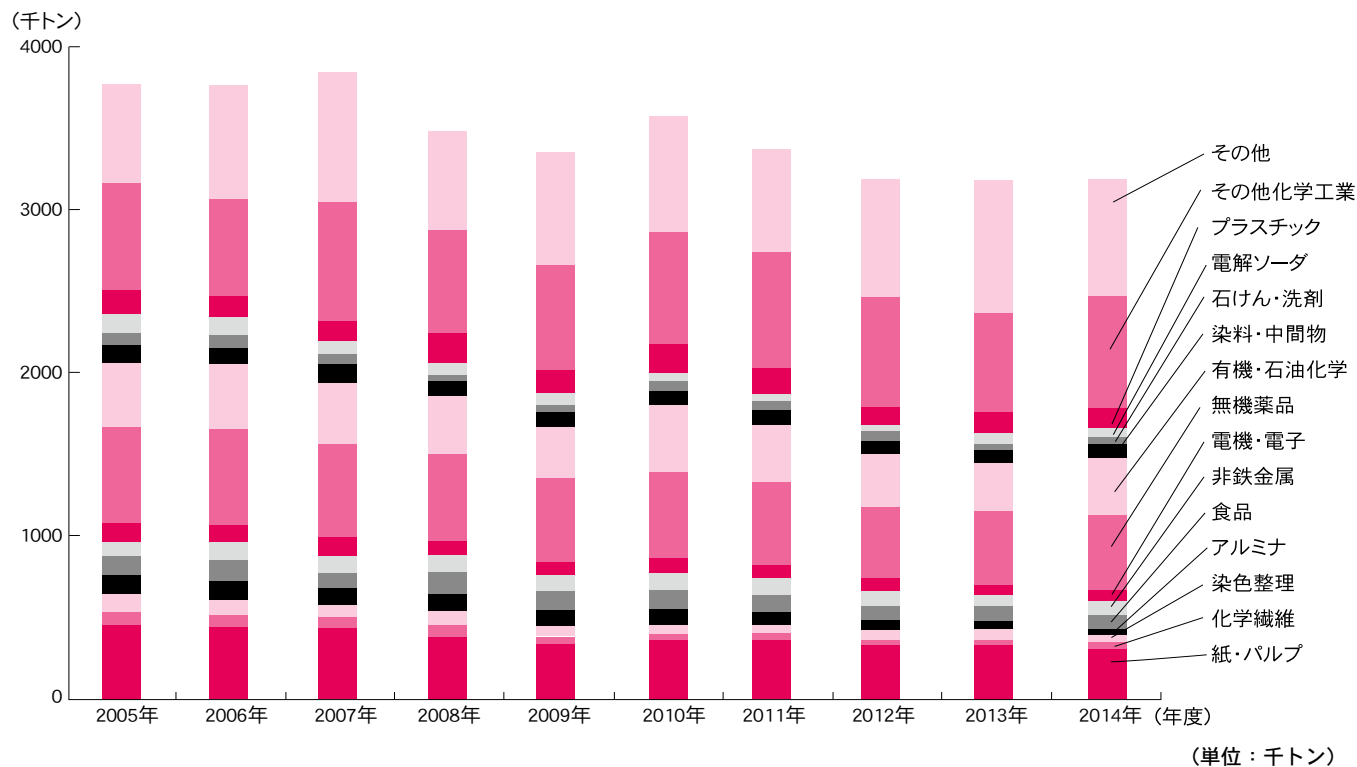


カセイソーダの内需推移



用途部門	年度	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
紙・パルプ		434	428	401	368	313	334	329	302	310	296
化学繊維		75	78	79	68	58	59	65	56	57	55
染色整理		101	100	92	75	66	65	59	48	48	46
アルミナ		112	105	101	97	73	67	66	51	31	26
食品		159	154	148	133	115	117	98	88	84	83
非鉄金属		103	109	121	116	102	106	103	92	84	81
電機・電子		101	107	110	95	89	94	81	74	71	70
医薬・農薬*		82	72	42	65	61	68	61	57	58	54
鉄鋼*		49	55	53	49	47	45	43	41	44	44
上下水道*		63	64	60	57	55	53	48	45	45	48
無機薬品		579	557	552	539	503	530	506	461	451	446
有機・石油化学		399	420	401	349	326	408	370	324	292	361
染料・中間物		99	97	99	89	94	94	76	73	80	79
石けん・洗剤		70	69	71	64	54	53	48	44	43	43
電解ソーダ		101	99	89	72	68	68	64	58	57	54
プラスチック		160	161	167	150	149	159	151	126	132	144
その他化学工業		668	693	754	641	637	699	701	638	609	679
その他		432	418	509	438	518	545	520	599	668	576
合計		3,787	3,786	3,849	3,465	3,328	3,564	3,389	3,177	3,164	3,185

注1) 需要内訳は、輸入を含まない出荷実績による。

注2) グラフの「その他」には、上の表の*「医薬・農薬」「鉄鋼」「上下水道」が含まれる。

カセイソーダは、様々な分野で使用されている基礎素材製品であり、需要の裾野が非常に広いことが特徴の一つとなっています。

2014年度内需は、対前年度比+0.7%の3,185千トンとなりました。

項目別に見ると、主力の化学工業向けでは、無機薬品、

染料・中間物などで減少しましたが、有機・石化、プラスチック、その他化学工業向けが増加したため、化学合計では前年度比で+5.7%の増加となりました。

一方、他の紙・パルプ、化学繊維などの分野でも減少しています。